

SEVEN

[一覧に戻る](#)

冷却試験

ストーブはOFF状態である必要があります。機能性を検証するために、各機能を1つずつ作動させることができます。

MENUボタンを数秒間おしてください。Tsと表示がされるまでMENUボタンを押してください。

「+」「-」ボタンでコード13を入力してください。入力後MENUボタンを1回押してください。

MENUボタンを1回押すと、C0と表示されます。そこから+ボタンを押すごとにC1・・・C7と順番に表示されます。各項目で「+」ボタンを押すと各機能が作動します。

終了時は0/1ボタンを長押ししてください。

C1:着火ヒーター	着火ヒーターをONIにします。
C2:排気ファンモーター	排気ファンモーターをONIにします。「+」ボタンを押すごとに回転数は上昇します。(最低数値40)
C3:燃料搬送モーター	燃料搬送モーターをONIにします。モータに流れる電流の値と状態を交互に表示されます。(11co=低電流、22co=電流範囲内、33co=高電流)
C4:送風ファンモーター	送風ファンモーターをONIにします。(最大で作動)
C5:排気温度センサー	排気ファンセンサーをONIにします。(自動で温度を読み取り)
C6:給気センサー	給気センサーをONIにしますが設定値よりも低い場合、音が鳴ります。
C7:室温センサー	室温センサーをONIにします。(AMB+自動確認)

パラメーター設定

ストーブはOFFまたはON状態である必要があります。

MENUボタンを数秒間おしてください。Tsと表示がされます。

MENUボタン1回押して、PAと表示されたのを確認してください。

「+」「-」ボタンでコード13を入力してください。入力後MENUボタンを1回押してください。

MENUボタンで項目の移動、「+」「-」ボタン数値の変更を行うことができます。

終了時は0/1ボタンを長押ししてください。

パラメーター名	数値	説明	単位	注意
rP		コード11を入力し、MENU'siで確認することで出荷時の設定にリセットできます。		
id 1		出荷時コード		設定変更できません
g'		第2着火段階の排気ファンの回転数の電流数値		数値は変更できません。常に変動します。
00co		冷却試験でのC3と同じ表示です。		
t		排気温度の現在温度		
FI		給気センサーの電流信号		
Sf	10	運転中に4.S6給気のしきい値を、センサーが読み取った値よりも低い場合には、ヒーターがH1を表示し消火段階に移行します	V	数値を変更しないでください。
AI		最新から最古まで、H1..H7(データシート)として表示アラームリストを見ることができます。		設定変更できません

CC	off	CC設定のON/OFF		on時には設定温度に達した場合、ストーブは消火段階へ移行し室温が下がったら再着火します。
A1	26	火力P1時の排気ファン回転数	g/s	炎の色が黒く不完全燃焼を起こしている場合や排気管の屈折部が多い場合には数値を上げてください。
A2	32	火力P2時の排気ファン回転数	g/s	
A3	39	火力P3時の排気ファン回転数	g/s	
AA	28	着火1段階目の排気ファン回転数	g/s	煙が多く着火までに時間かかる場合数値を上げてください。
Ar	37	着火2段階目の排気ファン回転数	g/s	炎の立ち上がりが悪く、温度が上がってこない場合に数値を上げてください。
tp	13(9)	初期ペレット投入量	x 10 s	着火時に多くの煙が発生する場合数値12に変更しても同じ現象が発生する場合は11に変更してください。
P1	25	火力P1時のペレット供給量	%	30%は、モーターが3.0秒、10秒のサイクルを実行することを意味しています。
P2	35	火力P2時のペレット供給量	%	
P3	50	火力P3時のペレット供給量	%	
PA	20	着火1段階目のペレット供給量	%	着火1段階目のペレット供給の割合
Pr	20	着火2段階目のペレット供給量	%	着火2段階目のペレット供給の割合
At	on	自動でONまたはOFFを選択します。		ONが使用される場合にはペレット供給の元となる値が目標温度(T1~T2-T3)に応じて調整されます。
tr	60	排気温度の読み取り頻度		
_P	25	火力P1時 ペレット基本投下量	%	
-P	30	火力P2時 ペレット基本投下量	%	
~P	40	火力P3時 ペレット基本投下量	%	
t1	12	火力P1時の目標温度	x 10 °C	熱量を多くしたい場合は数値を3あげてください。
t2	16	火力P2時の目標温度	x 10 °C	
t3	22	火力P3時の目標温度	x 10 °C	
Pu	20	燃焼ポットクリーニング頻度	minuti	灰が多いペレット燃料の場合には15まで減少させてください。
tp	10	燃焼ポットクリーニング期間	s	灰が多いペレット燃料の場合には15まで増加させてください。
_l	70	火力P1での最低送風量	%	この数値はストーブの設置、使用状況を慎重に考慮して変更してください。
~l	80	火力P1での最高送風量	%	
_2	80	火力P2での最低送風量	%	
~2	90	火力P2での最高送風量	%	
_3	90	火力P3での最低送風量	%	
~3	99	火力P3での最高送風量	%	
OF	99	消火段階時の送風ファン	%	数値80以下にしないでください
ds	15	ACからArに切り替える排気温度差分	°C	
tA	9	ストーブが通常運転に切り替わる排気温度	x 10 °C	最高15分以内にその温度に到達しない場合、消火段階へ移行します。
tS	60	ストーブが停止する排気温度	°C	Stop Fiamma = blocco SF (H3)
tF	28	最高排気温度	x 10 °C	この温度を越えた場合、ストーブは消火段階へ移行します。
AJ	10	室温センサー更生	°C	作動温度に到達するのに時間がかかる場合や実際のものとは異なる温度を読み取るために使用される場合には、数値を30まで上げてください。

J	0	排気温度センサー更生	°C	実際のものとは異なる温度を読み取るために使用し、ストーブの室温センサーの差を調整するために増加または減少することができます
AP	4	ペレット投下の割合= 最大40秒	s	
Acc	0000	着火回数		
H P1	0000	火力P1での稼働時間	ore	
H P2	0000	火力P2での稼働時間	ore	
H P3	0000	火力P3での稼働時間	ore	
CL	0	コード31を入力すると稼働時間などの情報リセット		
lr	OF	リモート制御を変更する		新しいリモートコード2010を交換管理するために使用されます。
gb	dg	停電時の管理		Management Blackout: rd = immediate DGC / g analysis / "smoke extractor d ° = temperature-dependent thermocouple
c	40	最低電流消費	Enumerico	オーガモーターの最低限度電流を設定します。
EC	30	アラームロックを上げるために必要な電流制限外のイベントの数を決定する	N°	アラームとブロックを上げるために必要な電流制限外の事象の数を設定します
br	11	燃料搬送オーガモーターの電流ブレーキ数値	Enumerico	
Eq	on	耐震センサーの検出をON/OFF	//	

ペレット供給量の変更

ストーブはOFF状態である必要があります。

MENUボタンを数秒間おしてください。Tsと表示がされます。

MENUボタンをCP0と表示されるまで押してください。

「+」「-」ボタンでコード13を入力してください。入力後MENUボタンを1回押してください。

「+」「-」ボタンを使い数値を変更してください。

終了時は0/1ボタンを押してください。